

2024年10月18日
花王株式会社(Kao Beauty Brands)

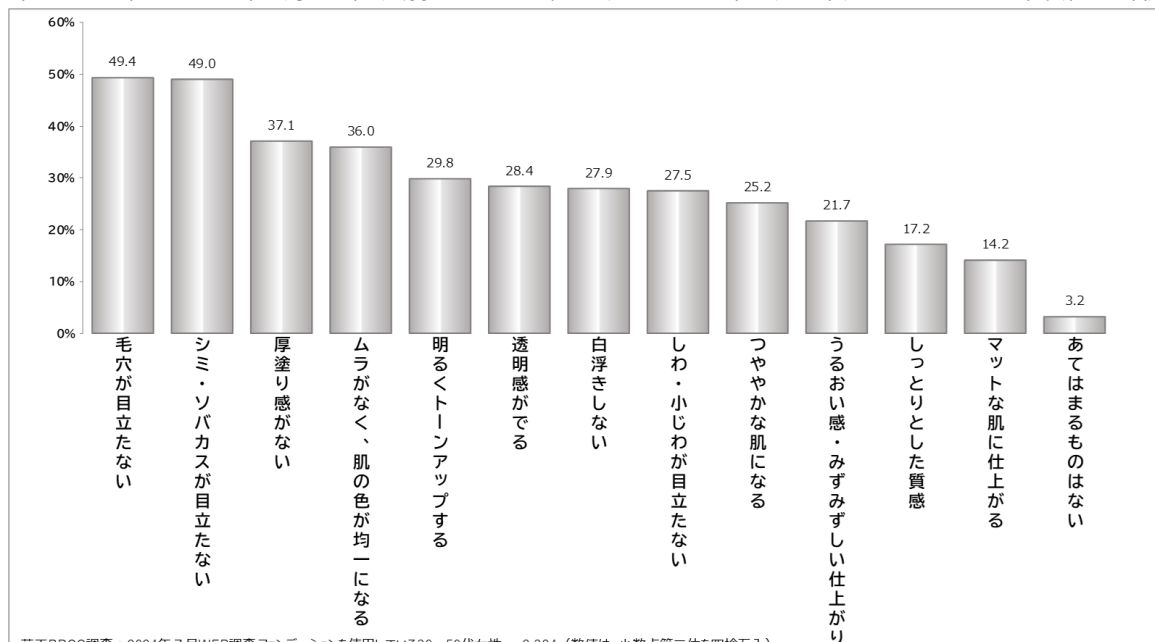
ムラづきのない自然なカバーで、キレイな肌に仕上げるメイク提案 ベースメイクの密着感を高め、肌に均一にフィットさせる方法



花王株式会社 ビューティリサーチ&クリエイションセンター（以下花王 BRCC）が、普段ファンデーションを使用している30～50代の女性にベースメイクについての意識調査^{*1}を行ったところ、ファンデーションの仕上がりに求めることは、“毛穴が目立たない”、“シミ・ソバカスが目立たない”、“厚塗り感がない”、“色ムラがなく均一になる”が、上位に挙げられました（図1）。併せて、実際の仕上がり実態を把握するべく、ご自身のファンデーションの仕上がりに満足していない30～40代女性のスキンケアからファンデーションの仕上がりまでの過程を、花王 BRCC のメイクアップアーティストが観察^{*2}。満足していない仕上がりはどのような状態で、何が原因でそのようになっているのかを検証しました。30～40代女性のファンデーションの仕上がり実態とその要因をご紹介しますとともに、求めるベースメイク肌に仕上げる方法をご提案します。

*1 花王 BRCC 調査:2024年7月 WEB 調査 ファンデーションを使用している30～50代女性 2,324名対象

*2 花王 BRCC 調査:2023年7月メイク行動観察&インタビュー調査ファンデーションの仕上がりに満足していない30-40代女性 21名対象



【図1】ファンデーションの仕上がりに求めることは何ですか？（複数回答）

ベースメイクの仕上がりに関係する肌のキメやうるおい状態

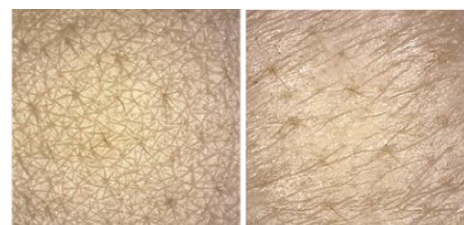
ファンデーションの仕上がりに満足していない30～40代女性の仕上がりを観察させていただくと^{*2}、ファンデーションが毛穴に落ちてしまい毛穴がより目立ってしまったり（図2①）、筋ムラができていたり（図2②）、毛穴周辺に溜まっていて（図2③）、求める仕上がりにになっていない人が多いことが分かりました。化粧下地やファンデーションが肌に均一に塗られていないため、塗りムラはもちろん、毛穴の中に溜まってしまう仕上がりにしている人もいました。さらに、毛穴やシミ・ソバカスをカバーしようとファンデーションを必要以上に多く塗ってしまう人も。ファンデーションを何度も重ねて塗ってしまうことで、厚塗り感が出たり、一部分に溜まってしまいムラができていたりしていました。



【図2】 不満足な仕上がりの例

このような仕上がりになる理由のひとつに、この年代でのキメの変化が考えられます。年齢とともに、キメは浅く不明瞭になってきます（図3）が、このことが、ファンデーションの肌への密着性を悪くしています。キメが深くはつきりしていると、化粧下地やファンデーションがキメの凹凸にひかかり溜まりやすいのですが、キメが浅く曖昧な肌は凹凸が少ないため、化粧下地やファンデーションが溜まりにくくなります。

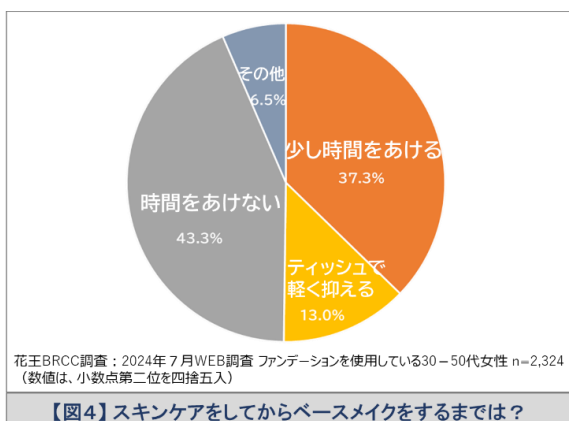
さらに、ベースメイクをする前の肌のうるおい状態も、ファンデーションの密着性に関係します。Web調査の結果^{*1}では、約半数の人が、ベースメイクをする前にスキンケアを行った後時間をあける、あるいは、ティッシュで押さえていました（図4）。実際に、先の行動観察調査^{*2}でも、ベースメイクをする前のスキンケアの後に、数分～20分程度の時間をあける人やティッシュオフをする人が複数みられました。「スキンケアが浸透していない」「べたつきが少し残るので、それを落ち着かせるため時間をあけている」など、どちらも、スキンケア後の肌状態が気になっていることが理由でした。しかしながら、実際にメイク直前の肌状態を確認すると、スキンケア後に時間をあけることによって肌のうるおいが不十分な人や、ティッシュオフすることで口の周りや目の下などが部分的に乾燥している人がいました。ベースメイク前の肌のうるおいが不足していると、化粧下地やファンデーションが滑りにくくなるため、のびが悪くなり、不均一でムラができやすくなります。



細かく明瞭(20代女性・類) 浅く不明瞭(40代女性・類)

【図3】 肌表面(キメ)の典型拡大画像

スキンケアをしてからベースメイクをするまでは？



花王BRCC調査：2024年7月WEB調査 ファンデーションを使用している30～50代女性 n=2,324 (数値は、小數点第二位を四捨五入)

【図4】 スキンケアをしてからベースメイクをするまでは？

キメが不明瞭だったり、うるおいが不十分な状態だと、ベースメイクと肌の密着性が悪くなり、ヨレてしまったり、ムラができてしまい、均一できれいな仕上がりになりにくいのです。

自然なカバーで塗りムラがなく、きれいなメイク肌に仕上げるベースメイクのHow To ベースメイク前のスキンケアにもひと工夫を

そこで、シミや毛穴を均一にカバーできていなかったり、塗りムラができる、逆に毛穴が目立ってしまうなどのベースメイク肌に満足していない人に向けて、ベースメイクをきれいに仕上げる方法をご紹介します。特に、年齢とともにキメが不

明瞭になっている人は、肌とベースメイクの密着性を高め均一にフィットさせる塗り方が大切です。花王 BRCC のメイクアップアーティストから、化粧下地とファンデーションを肌により密着させ、均一に塗る方法をアドバイスします。また、肌にうるおいが十分ある状態でベースメイクをすることも密着をより高めるために重要ですので、ベースメイク前のスキンケア時に気をつけたいポイントも併せてご紹介します。

■ベースメイクの塗り方 How to : 肌への密着を高めて、均一な肌に仕上げる

化粧下地の塗り方



①中心から外側に向かって点置きします。

②指で軽くタップするようになじませます。滑らせたり、引っ張ったりしないのがポイント。

③最後にスポンジで軽く押さえてフィットさせます。

ファンデーション（リキッド）の塗り方



①中心から外側に向かって点置きします。頬を中心にして、フェイス周りや口周りは薄くなるように置きます。

やさしくトントン!

②化粧下地と同様に、指で軽くタップするようになじませます。フェイス周りは薄くなるように、整えます。

③最後にスポンジで軽く押さえてフィットさせます。

■ベースメイク前のスキンケア Point : うるおいを角層に十分に浸透させ、べたつきを残さずもっちり肌に仕上げる



①化粧水を顔全体になじませた後、手のひらの中心部分をびったりと数秒間当てて離します。内側から外側にずらしながら数回繰り返します。

②目の下・鼻の下やあごなど細かい部分は指先(中指薬指)を使って同様に。数秒押し当てて数回繰り返しなじませます。

③写真のように、肌が手のひらに吸い付くようになったらOK。

化粧水の後に使う乳液や美容液も同様に!!

〈自然なカバーで塗りムラがなく、きれいなメイク肌に仕上がるベースメイク おすすめ商品〉

化粧下地

■プリマヴィスタ ファンデブースト<皮脂くずれ防止>

ファンデのタイプによらず化粧のり・化粧もちを格上げ。
乳液タッチのつけ心地でまるでキメが整ったようなメイクのベースをつくれます。
ファンデーションがムラなくきれいに密着し、均一な仕上がりを叶えます。
テカリやベタつきだけでなくファンデーションのヨレ・トレを防ぎます。

https://www.sofina.co.jp/primavista/products/boost_primer/



■トワニー リズムラスティングウェア

くずれにくく乾燥しにくい、ツヤ肌続く極薄仕込みヴェール。
毛穴が目立ちにくいきめ細かな仕上がりで、明るい印象が続きます。
肌と一体感のある仕上がりで、他のベースメイクアイテムのノリが良く密着。

https://www.kanebo-cosmetics.jp/twany/lineup/twany_base/rhythm_lasting_wear/



ファンデーション

■プリマヴィスタ ステイグロウリキッド

ぷるんとした剤が肌にすーっと伸びて、ぴたっと密着、小鼻の毛穴や頬の色むらまで緻密にカバー。
つるんとした均一なセミつや陶器肌*が、1日中**つづきます。

*メイクアップ効果による仕上がり

**朝塗布してから夕方落とすまで

https://www.sofina.co.jp/primavista/products/stayglowing_liquidfoundation/



■トワニー レイヤリングスキンリキッド

サッと伸びてスツとなじむ。光を集めて立体感を演出。
伸びよく、肌にムラなく密着。肌への負担が少なく心地よく使えます。
時間がたってもくずれにくく、ヨレにくい。サラッとしているのにしっかりと乾燥しにくい仕上がり。

https://www.kanebo-cosmetics.jp/twany/lineup/special/20240801_layering_skin_liquid/



【美容の情報はこちら】

ビューティコミュニティサイト「Kao Beauty Brands プレイパーク」では、美容に関するさまざまな情報を公開しています。 <https://member.kao-kirei.com/jp/kbbplaypark/>



【花王 ビューティリサーチ&クリエイションセンターについて】

花王化粧品事業部門の中で、科学的エビデンスや生活者リサーチ、美容トレンドに基づき、Kao Beauty Brands の全ブランドの基礎となる美容情報や技術を開発。Kao Beauty Brands のサイトにおいて、美容の情報も監修しています。